

恵那市立小中学校 保護者様へ

個別学習ドリルアプリ 『ドリルパーク』

を導入しました

恵那市教育委員会

恵那市では、家庭学習のさらなる充実のため、新たな学習ドリルアプリを導入しました。『ドリルパーク』は、子供が一人でも学ぶことができる学習ドリルアプリです。宿題での活用はもちろん、自分のペースで行う自主学習に活用できます。即時の正誤判定や、AIによる自分に合った問題の出題等、様々な機能を搭載し、ICTで子供の学習を支援します。大いにご活用ください。



ドリルパークの特徴



- ① 教科書に準拠しています
- ② 知識がしっかり身に付く、豊富な問題数を収録しています
- ③ 一人ひとりの習熟度に合わせた問題をAIが自動出題します
(アダプティブラーニング)
- ④ 学習したいところを集中的に学習できます
- ⑤ 子供のやる気を高める工夫があります
- ⑥ 家庭学習の取り組みは学校側も確認できます
- ⑦ 端末とネット環境があればどこでもできます



◀ ドリルパークでできること

- ベーシックドリルで基礎基本を定着することができます
- パワーアップドリルで思考力、判断力、表現力を伸ばせます
- 繰り返し取り組むことで学習習慣が身に付きます
- 繰り返しの学習で正解を増やし、学習意欲が高まります

◀ ドリルパークの問題数(教科書に準拠した問題)

■ 小学生 (問題数)

	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約7,800	約250
算数	約30,400	約170
理科	約1,800	
社会	約1,450	

■ 中学生 (問題数)

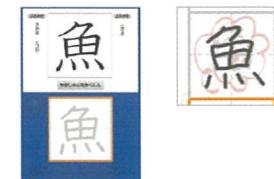
	ベーシックドリル	パワーアップドリル
国語	約4,700	約250
数学	約9,700	約130
理科	約2,500	
社会	約3,300	
英語	約5,000	約300

◀ ドリルパーク活用の具体例

■ 1問ごとに即時正誤判定



■ 書き取りは手書きで



■ 間違えた問題だけ解き直し



■ 連続正解や全問正解で意欲UP



ドリルパーク導入の背景

新時代を生きる子供たちに

将来の予測が困難で変化が激しい社会の中で、自ら問題を発見し、解決方法を考え実行し、振り返ることや、他者と対話を通じて問題解決ができるようになることが求められています。

そのために、次の資質・能力等を高めていくことが大切です。

- 主体性（自分で学びに向かう力等）
- 思考力、判断力、表現力等
- 基礎的・基本的な知識・技能

授業と家庭学習の両輪で力を付ける

授業は、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図りながら、課題を解決するのに必要な力を身に付け、自ら学んでいく力を高めています。一人一台端末の活用によって様々な情報を得たり、仲間と協力して学んだりしていくことで、より高次な資質・能力を身に付けます。

家庭学習は、知識・技能の定着の場になります。定着には反復的な学習が必要で、宿題だけではなく、何を学習するのか自分で考え、自分のペースで自分に必要な量を行う自主学習が大切です。自ら学びに向かう力を身に付けることは、学習への興味・関心を高め、学校の授業の積極的な取組にもつながります。

保護者様へのお願い

● 家庭学習において、宿題のほかにも自主学習の部分で『ドリルパーク』を大いにご活用ください

● 各ご家庭で、お子様への励ましの言葉掛けや、アドバイスをしながら、時折、家庭学習について話題にしていただけすると幸いです

● ご家庭での端末の使用時間が増えます。下記のことを意識しながら、お子様の見守り、声掛けをお願いいたします

次のことを大切にしましょう!!

大切な体を守る

- 部屋の明るさに合わせて画面の明るさを調整しましょう
 - 目から30cm以上離して使いましょう
 - 30分に1回は20秒以上遠くを見ましょう
 - 寝る1時間前からは使わないようにしましょう
- 
- 30cm
以上

学習の成果を上げる

- 家庭学習は宿題、次に自主学習の順に取り組みましょう
- 小学校の低学年は、親子で取り組みましょう
- 紙に書く勉強も大切にしましょう
(小低学年は紙が基本)
- 学校のタブレットは勉強以外には使わないようにしましょう

